

映像変換ソフトウェア仕様書

刑事部捜査支援分析課

仕様書

映像変換ソフトウェア「バーズ・ビューア」（株式会社バーズコミュニケーション製）
若しくは以下の性能を有するソフトウェア 2 式

No	項目	仕 様
1	基本機能	動画ファイルの再生、コンビニエンスストアや郵便局をはじめとする防犯カメラ映像ファイルを変換し、同時に動体のスキャン・検出を行えること。再生時の検出感度の変更にも即座に反映できること。
		検出結果をもとに報告書作成出力を行う機能を有すること。
		新たに見出されたファイル形式にも対応できるように最小年一回のバージョンアップを行うこと。なおバージョンアップ作業は受注者において行うこと。
2	ファイル取り込み機能	AVI、MPEG、WMV、M2TS、MP4、MTS形式等の本映像ファイルを直接取り込みできること。
		1 fps～30fps以上のフレームレートまで取り込み可能であること。
3	映像変換機能	取り込んだ映像ファイルを統一フォーマットに変換して出力できること。
		H. 264変換時に、フレームレート、ビットレート、再生速度等が変換できること。
		映像変換時に動体スキャンも同時に行えること。
4	映像再生・表示機能	変換映像の再生機能は、再生及び逆再生、再生速度の変更調整などできること。
		再生機能には、一時停止、一時停止再開ができること。
		再生機能には、コマ送り、逆コマ送りできること。
		再生機能には、指定フレーム間のリピート再生ができること。
		変換元映像ファイルの年月日時分秒のタイムスタンプが表示できること。
		再生時に、画像の拡大、縮小ができること。
		再生時に、画像調整ができること。
		画像調整は、画像・映像の環境（暗闇・逆光・霧等）に合わせて補正パラメーターの変更設定ができること
		明るさ、コントラスト調整ができること。
5	時刻調整機能	再生時に任意のフレームを静止画像としてスナップショット保存できること。
		変換元映像に含まれる開始時刻が間違っている場合、補正值により開始時刻を補正することができること。
6	動体の検出機能	動体を検出するエリアをグリッドで任意に複数指定できること。
		動体の検出パラメーター（感度等）が設定できること。
		映像変換時に動体の検出を同時にできること。
		動体の検出後は、動体を検出するエリア、動体検知パラメーターを変更と同時に結果を表示出力できること。
7	動体の検出結果表示機能	動体の検出結果の画像をサムネイルで一覧表示ができること。
		同地の検出エリアの指定や動体検出パラメーターの変更と同時に検出結果のサムネイル表示に反映できること。
		映像再生時に動体の検出時間が確認できること。
		動体の検出結果の映像再生時に動体の検出位置に自動でジャンプして順次再生確認できること。
		動体の検出結果を再生しながら静止画像としてスナップショット保存できること。

8	変換映像の出力機能	・ 変換映像をAVI形式、MPEG4形式及びMPEG2-TS形式で出力できること。
		・ 変換映像を指定時間（1分～8時間）単位で映像ファイルで出力できること。
9	変換映像の管理機能	・ 取り込んだ変換元映像ファイルは映像名称（ファイル名）を付けて管理ファイルとして保存できること。
		・ 映像名称（ファイル名）を指定して、管理ファイルを読み込み、再度簡単に映像変換が行えること。
10	画面キャプチャー機能	・ 変換不可能な映像ファイルは、提供される専用ビューアで映像を再生し、この映像を画面キャプチャーして変換映像として取り込めること。
		・ 各種映像再生ソフトウェアの再生ウィンドウを検出し、キャプチャー範囲を簡単に設定できること。
11	全方位カメラ映像変換機能	・ 取得した映像が全方位カメラ（360°カメラ）魚眼映像の場合、魚眼映像の任意の位置をリアルタイムで正像変換して、映像再生できること。
12	レポート機能	・ 映像再生からスナップショット撮影した画像を使用して、容易にレポート（報告書）作成が行えること。
		・ スナップショット撮影で保存した複数の画像を指定の雛形に合わせて一括印刷できること。
		・ 雛形には一連番号を自動付与できること。
		・ 雛形には、画像毎にコメントの記載や、画像上に矩形、矢印当時の図形入力もできること。
		・ レポート出力機能は、A4サイズで出力できること。
13	ハードウェアキー	・ 本アプリケーションの起動には、ライセンス認証用USBハードウェアキーを必要とすること。
14	付属品	・ ソフトウェアインストール用CD及び取扱説明書を付属すること。